

## (17) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

### 法人の概要

- |   |         |   |
|---|---------|---|
| 1 | 名 称     | 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社  |
| 2 | 目 的     | 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。  |
| 3 | 公益認定年月日 | 平成24年3月19日<br>(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日<br>昭和57年8月1日)  |
| 4 | 設立登記年月日 | 平成24年4月1日<br>(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日<br>昭和57年8月7日)   |
| 5 | 基本財産    | 出えん金 3,000,000円<br>鳥取県出えん金 1,500,000円<br>倉吉市出えん金 500,000円<br>湯梨浜町出えん金 500,000円<br>三朝町出えん金 250,000円<br>北栄町出えん金 250,000円  |
| 6 | 役員等     | 評議員 5人 理事 7人 監事 2人<br>評議員 井土美智子(湯梨浜町女性団体連絡協議会副会長)<br>〃 佐々木敬宗(倉吉商工会議所専務理事)<br>〃 石田耕太郎(倉吉市長)<br>〃 松島文子(学校法人藤田学院鳥取短期大学生生活学科教授)<br>〃 中西朱実(鳥取県生活環境部くらしの安心局長)<br>理事長 長谷川具章<br>常務理事 長谷川具章(理事長兼務) |

理 事 宮 脇 正 道 (湯梨浜町長)  
〃 松 浦 弘 幸 (三朝町長)  
〃 松 本 昭 夫 (北栄町長)  
〃 中 江 亜紀子 (有限会社中江組代表取締役)  
〃 山 崎 昌 徳 (倉吉市副市長)  
〃 田 中 将 (鳥取県生活環境部くらしの安心局水環  
境保全課長)

監 事 馬 壁 聰之介  
〃 木 天 昌 明 (税理士)

7 職 員 8人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地

## 平成30年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（平成26年度～平成30年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

平成30年度決算額は、531,742千円であり、着水井ゲート室修繕工事、特別高圧引込線修繕工事など早急な修繕工事が必要となったことにより、対前年度比2%の増加となった。

## 1 天神川流域下水道の管理運營業務

## (1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理業務等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥化として有効活用を図った。

流入汚水量は年間7,352千 $m^3$ （日量20,145 $m^3$ ）で、対前年比2.5%の減少となったが、脱水汚泥は年間5,128トで、1.1%の減少となり、使用電力量は5.3%減少することができた。

[水処理及び汚泥処理の状況]

## ①流入汚水量

平成30年度の年間計画流入水量は、7,318千 $m^3$ （日平均20,050 $m^3$ ）に対して、実績は次のとおりであった。

日平均	20,145 $m^3$
年間合計	7,352,891 $m^3$

## ②水処理の状況

放流水の水質基準を十分に達成。

項目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質 除去率
BOD (mg/l)	160	2.8	15	98%
浮遊物質 (SS) (mg/l)	130	2.0	40	98%

※ BOD＝生物化学的酸素要求量

## (2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして2号ベルトプレス脱水機、6号主ポンプ、最終沈殿池減速機等の計画的な分解整備（オーバーホール）や着水井ゲート室修繕工事、ドラフトチャンバー改修工事等を実施し、故障の未然防止や主要機器類の長寿命化に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

## 2 下水道の水質分析等

平成30年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	405回
検体数	23,586検体

## 3 下水道技術者の養成

公社職員の資質及び技術の向上を図るため、技術研修会、講習会等に積極的に参加した。

## 4 下水道技術の調査研究

「脱臭用活性炭の2年周期交換」へ延長した場合の活性炭劣化状況の調査研究及び「二軸グラフを用いた処理水質と消費エネルギーの見える化」による水処理工程の最適管理に向けた調査研究に取り組んでいる。また、第55回下水道研究発表会に職員が参加した。

## 5 下水道知識の普及及び啓発等

## (1) 情報提供

ホームページでの公社の財務状況、水処理状況、催しの案内等を随時掲載した。

## (2) 下水道についての理解と普及促進を図るための取組

## ア ぐるり水の探険

中部地区1市4町の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池、天神浄化センターの施設見学、水質検査の体験等を行い、水の循環、適正な利用、汚水処理について理解を深めた。(開催日7月28日(土))

## イ 第30回下水道コンクール

募集する小学校は1市3町(倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町)としていたが、今年度からは琴浦町へも拡大して4年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

・入賞作品：絵画・ポスター9点、習字15点、標語9点

・応募作品数：平成29年度より27%の増加

	絵画・ポスター	習字	標語	計
平成30作品数	140	694	154	988
平成29作品数	116	523	137	776

・開催日：審査会9月14日、表彰式10月9日(倉吉未来中心)、  
展示会10月7日～9日(倉吉未来中心)

## ウ 下水道ふれあい教室

小学校に職員が出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の授業を6月、7月、2月に4校で実施した。

## エ 施設見学者への対応

天神浄化センターの見学者は、小学生の見学者が昨年より減少した。昨年に引き続き、地域住民の方へ下水道について理解を深めていただくため、住民の見学会を企画し、湯梨浜町はわい長瀬・久留地区等の住民の見学を受け入れた。

年 度	総 数	内 訳		
		一般	学校関係	官公庁関係
平成30年度	479人	65人	398人	16人
平成29年度	643人	53人	477人	113人

## 6 中期経営計画の取組

中期経営計画(平成29年度～令和2年度)に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し、天神浄化センター見学者のCS(顧客満足度)向上及び管理運営の一層の効率化の前進に取り組んだ。

## (1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

毎月1回のペースで水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効

率的な管理運営の調査検討に取り組んだ。

- ・水質とエネルギーの最適管理（下水処理場における二軸管理）について
- ・汚泥処理と高分子凝集剤の最適管理に関する調査研究について
- ・設備機器類の不具合事例とメンテナンスサイクルについて 等

(2) 管理運営の効率化

放流水質の維持並びに施設の機能・性能の確保との両立を前提として、現場主義で管理運営の一層の効率化に取り組んだ。

ア エネルギー管理の徹底

- ・契約電力の見直し（1,050kw→950kw） ▲1,790 千円/年
- ・電力使用量の低減（水処理棟給排気ファン、デマンド管理等） ▲1,800 千円/年

イ 業務委託の見直し

- ・植栽管理内容の見直し ▲2,700 千円/年

ウ 物品購入の改善

- ・物品購入の見積依頼者の拡大、水質試験用品の一括購入等 ▲946 千円/年

7 その他

(1) 次期指定管理候補者審査及び協定書の締結

令和元年度～令和5年度の5年間の天神川流域下水道指定管理の指名指定を受けて、次のとおり実施した。

- ・8月15日 天神川流域下水道に係る指定管理者の審査通知を受理。
- ・9月13日 指定申請書を県水環境保全課へ提出。
- ・10月10日 指定管理候補者に係る面接審査。
- ・11月2日 指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会における審査結果で候補として適当との通知を受理。（評価点84.5点/100点）
- ・12月19日 鳥取県議会において、次期指定管理者として議決。
- ・1月24日 天神川流域下水道の管理運営に関する協定書の締結。

(2) 異常流入水

○7月5日（木）～7日（土） 集中豪雨による大雨の異常流入水

- ・天神浄化センター流入汚水量：43,098m<sup>3</sup>/日（時間最大 2,296m<sup>3</sup>/時）
- ・処理状況：通常処理を行い、簡易処理放流なし

○9月9日（日）～10日（月） 台風接近による大雨の異常流入水

- ・天神浄化センター流入汚水量：39,350m<sup>3</sup>/日（時間最大 2,399m<sup>3</sup>/時）
- ・処理状況：通常処理を行い、簡易処理放流なし

○9月29日（土）～30日（日） 台風24号接近による大雨の異常流入水

- ・天神浄化センター流入汚水量：52,280m<sup>3</sup>/日（時間最大 5,251m<sup>3</sup>/時）
- ・処理状況：通常処理を行い、簡易処理放流なし
- ・貯留池へポンプ排水をしたが、排水処理能力以上の雨水流入により近隣の畑に浸水した。畑所有者が現場に居られ、排水が追いつかないことを説明して、理解いただいた。

(3) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会

- ・全国下水道公社連絡協議会（主催：（公財）香川県下水道公社）に出席し、各県からの提案議題等の協議、情報交換を行った。また、中国四国下水道公社連絡協議会の開催県として、各県公社から提案のあった議題について協議等した。

(4) 人権教育の研修会

職員の人権意識の高揚、人権感覚を身につけ向上させるため、人権啓発推進員研修会の受講及び全職員対象の研修会を開催した。

(5) 防災訓練等

消防計画に基づき、火災訓練を5月に、総合訓練として地震、その他の災害を想定した訓練を11月に実施した。

(6) 維持管理年報の作成

平成29年度維持管理年報を作成し、関係機関に配布した。

## 正味財産増減計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	300	750	△ 450	
基本財産受取利息	300	750	△ 450	
事業収益	531,742,320	521,157,272	10,585,048	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	531,742,320	521,157,272	10,585,048	
雑収益	147	153	△ 6	
受取利息	147	153	△ 6	
経常収益計	531,742,767	521,158,175	10,584,592	
(2) 経常費用				
事業費	516,387,440	502,882,307	13,505,133	
役員報酬	4,088,721	4,149,991	△ 61,270	
給料手当	32,494,215	32,201,842	292,373	
退職給付掛金	1,656,000	1,656,000	0	
福利厚生費	5,881,745	5,749,565	132,180	
会議費	7,380	8,200	△ 820	
旅費交通費	204,185	402,190	△ 198,005	
通信運搬費	345,994	345,384	610	
消耗品費	16,100,769	16,307,203	△ 206,434	
修繕費	159,831,000	114,810,097	45,020,903	
印刷製本費	382,531	639,362	△ 256,831	
燃料費	1,428,770	967,138	461,632	
光熱水料費	58,133,732	65,935,701	△ 7,801,969	
賃借料	1,088,054	2,602,519	△ 1,514,465	
保険料	2,397	2,601	△ 204	
手数料	78,611	173,184	△ 94,573	
租税公課	4,331,725	4,248,778	82,947	
委託費	230,290,411	252,596,452	△ 22,306,041	
負担金	41,200	86,100	△ 44,900	
管理費	17,335,112	17,976,412	△ 641,300	
役員報酬	1,022,180	1,036,898	△ 14,718	
給料手当	8,009,845	7,765,943	243,902	
退職給付掛金	504,000	504,000	0	

科 目	当年度	当年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,456,133	1,423,072	33,061	
会議費	7,740	0	7,740	
旅費交通費	166,360	261,955	△ 95,595	
通信運搬費	285,051	318,576	△ 33,525	
消耗品費	543,808	934,356	△ 390,548	
修繕費	135,128	80,935	54,193	
印刷製本費	99,188	121,100	△ 21,912	
燃料費	279,161	311,175	△ 32,014	
光熱水料費	1,438,586	1,623,125	△ 184,539	
賃借料	395,921	563,743	△ 167,822	
保険料	120,950	97,680	23,270	
諸謝金	343,600	272,200	71,400	
手数料	281,966	289,872	△ 7,906	
租税公課	495,575	332,922	162,653	
委託費	1,568,160	1,804,680	△ 236,520	
負担金	181,760	234,180	△ 52,420	
経常費用計	533,722,552	520,858,719	12,863,833	
当期経常増減額	△ 1,979,785	299,456	△ 2,279,241	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,979,785	299,456	△ 2,279,241	
一般正味財産期首残高	3,266,521	2,967,065	299,456	
一般正味財産期末残高	1,286,736	3,266,521	△ 1,979,785	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	4,286,736	6,266,521	△ 1,979,785	



## 正味財産増減計算書内訳表

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	300			300
基本財産受取利息	300			300
事業収益	514,509,299	17,233,021		531,742,320
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	514,509,299	17,233,021		531,742,320
雑収益	147			147
受取利息	147			147
経常収益計	514,509,746	17,233,021	0	531,742,767
(2) 経常費用				
事業費	516,387,440			516,387,440
役員報酬	4,088,721			4,088,721
給料手当	32,494,215			32,494,215
退職給付掛金	1,656,000			1,656,000
福利厚生費	5,881,745			5,881,745
会議費	7,380			7,380
旅費交通費	204,185			204,185
通信運搬費	345,994			345,994
消耗品費	16,100,769			16,100,769
修繕費	159,831,000			159,831,000
印刷製本費	382,531			382,531
燃料費	1,428,770			1,428,770
光熱水料費	58,133,732			58,133,732
賃借料	1,088,054			1,088,054
保険料	2,397			2,397
手数料	78,611			78,611
租税公課	4,331,725			4,331,725
委託費	230,290,411			230,290,411
負担金	41,200			41,200
管理費		17,335,112		17,335,112
役員報酬		1,022,180		1,022,180
給料手当		8,009,845		8,009,845
退職給付掛金		504,000		504,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,456,133		1,456,133
会議費		7,740		7,740
旅費交通費		166,360		166,360
通信運搬費		285,051		285,051
消耗品費		543,808		543,808
修繕費		135,128		135,128
印刷製本費		99,188		99,188
燃料費		279,161		279,161
光熱水料費		1,438,586		1,438,586
賃借料		395,921		395,921
保険料		120,950		120,950
諸謝金		343,600		343,600
手数料		281,966		281,966
租税公課		495,575		495,575
委託費		1,568,160		1,568,160
負担金		181,760		181,760
経常費用計	516,387,440	17,335,112	0	533,722,552
当期経常増減額	△ 1,877,694	△ 102,091	0	△ 1,979,785
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,899,888	△ 79,897	0	△ 1,979,785
一般正味財産期首残高	3,146,424	120,097	0	3,266,521
一般正味財産期末残高	1,246,536	40,200	0	1,286,736
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	4,246,536	40,200	0	4,286,736

## 貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	30,186,264	32,893,903	△ 2,707,639
未収金	0	13,238	△ 13,238
貯蔵品	1,286,736	3,266,521	△ 1,979,785
流動資産合計	31,473,000	36,173,662	△ 4,700,662
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	34,473,000	39,173,662	△ 4,700,662
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	586,541	599,342	△ 12,801
仮受金	32,554	0	32,554
未払金	29,567,169	32,307,799	△ 2,740,630
流動負債合計	30,186,264	32,907,141	△ 2,720,877
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	30,186,264	32,907,141	△ 2,720,877
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産	1,286,736	3,266,521	△ 1,979,785
正味財産合計	4,286,736	6,266,521	△ 1,979,785
負債及び正味財産合計	34,473,000	39,173,662	△ 4,700,662

## 財務諸表に対する注記

## 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

## 2. 重要な会計方針

- (1)平成20年公益法人会計基準(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府 公益認定等委員会)を適用している。
- (2)棚卸資産(貯蔵品)について  
棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。
- (3)消費税の会計処理について  
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

## 3. 会計方針の変更

該当なし

## 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

## 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

## 6. 担保に供している資産

該当なし

## 7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

## 8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

## 9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳  
該当なし

13. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

14. 重要な後発事象  
該当なし

15. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために  
必要な事項

(単位:円)

品名	当期末残高
業務用薬品	713,655
材料	47,151
自家用発電設備燃料	485,730
切手、収入印紙	40,200
合計	1,286,736

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社  
財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行 羽合支店	運転資金として	30,186,264
貯蔵品	業務用薬品(高分子凝集剤、 次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ他)	運転管理等に伴う年度末の在庫として	713,655
	材料(ろ過砂)	砂ろ過設備の材料として	47,151
	A重油	自家用発電設備燃料として	485,730
	切手、収入印紙	郵送、契約書用として	40,200
流動資産合計			31,473,000
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			34,473,000
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払額他	鳥取県に対する維持管理業務委託返納金未払他	29,567,169
仮受金	電気使用料工事業者負担分	現場事務所で使用した電気使用料業者負担分	32,554
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税、健康保険料預り金	586,541
流動負債合計			30,186,264
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			30,186,264
正味財産			4,286,736

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

## 令和元年度事業計画

## I 基本方針

当社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和元年度～令和5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

令和元年度は、次期指定管理期間の初年度となり、次の管理運営の方針に基づくとともに、引き続き中期経営計画の推進により、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理、水質管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

## 【管理運営方針】

- (1) 良好かつ効果的な下水処理を確保すること
- (2) 適切な維持管理による持続的な下水道機能を確保すること
- (3) 継続的な業務改善と管理運営の効率化を進めること
- (4) 下水道技術の普及及び啓発等の充実に努めること
- (5) 下水道技術の継承と技術力向上を図ること
- (6) 連携協力と信頼性を確保すること

## II 事業内容

## 1 天神川流域下水道の管理運營業務【478,233千円】

## (1) 天神浄化センター運転管理、水質管理等業務

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理、水質管理を効率的かつ継続的に実施し、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 流入汚水の量的質的变化や水質試験結果等をダイレクトに反映させながら、水処理悪化等に対する迅速な対応と放流水質管理目標の確保とともに、下水道機能の維持を図る。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検等は外部委託で実施しており、相互連携の下で天神浄化センターの適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

## ・計画流入汚水量

令和元年度	平成30年度（実績）
7,451,394m <sup>3</sup> （日平均20,359m <sup>3</sup> ）	7,352,891m <sup>3</sup> （日平均20,145m <sup>3</sup> ）

## ・放流水質管理目標

BOD (mg/l)	浮遊物質 (mg/l)	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )
10未満	10未満	30未満

※ BOD＝生物化学的酸素要求量

## ・計画汚泥処理量

令和元年度	平成30年度（実績）
5,100t	5,128t

## (2) 施設の維持管理業務

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）を実施し、予防保全等の保全措置により故障の未然防止と施設の長寿命化を図る。



○エネルギー管理の徹底、業務委託の見直し、部品交換・修繕工事等の合理化・効率化など継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

・維持管理施設

対象施設	<ul style="list-style-type: none"><li>・天神浄化センター（処理能力 32,000m<sup>3</sup>/日）</li><li>・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠</li><li>・処理分区流量計測設備（23箇所）</li><li>・若土ポンプ場</li></ul>
------	--

- ・主要機器類の分解整備  
1号送風機、脱水ケーキ移送ポンプ、水中エアレータ他
- ・特別高圧引込線修繕
- ・着水井ゲート室ゲート修繕

2 下水道の水質分析等【2,000千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、ダイレクトに現場へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

3 下水道技術者の養成【227千円】

- 下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。
- 下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等への積極的な参加等により職員のスキルアップと現場実務への反映を図る。

4 下水道技術の調査研究【204千円】

- 下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。
- 8月に開催される下水道技術発表会（日本下水道協会主催）に参加するなど、下水道技術の情報収集を実施する。

5 下水道知識の普及及び啓発等【495千円】

- 小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。
- ホームページに下水道に関する情報を掲載して、啓発を実施する。
- 水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的として、ダム、水道水源地、天神浄化センターを見学する「ぐるり水の探検」を開催する。
- 「下水道コンクール」として、中部地区の小学校4年生の児童を対象に、絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集し、審査会を経て優秀作品を表彰する。
- 「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。

6 その他公社の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社  
収 支 予 算 書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	496,414	539,175	△ 42,761	
天神川流域下水道維	496,414	539,175	△ 42,761	
持管理受託事業収益				
雑収益	3	2	1	
受取利息	3	2	1	
経常収益計	496,418	539,178	△ 42,760	
(2) 経常費用				
事業費	481,159	520,674	△ 39,515	
役員報酬	3,918	4,150	△ 232	
給料手当	32,354	32,708	△ 354	
退職給付掛金	1,692	1,656	36	
福利厚生費	6,046	6,012	34	
会議費	10	11	△ 1	
旅費交通費	289	489	△ 200	
通信運搬費	350	346	4	
消耗品費	16,621	19,166	△ 2,545	
修繕費	113,770	147,177	△ 33,407	
印刷製本費	369	470	△ 101	
燃料費	1,169	845	324	
光熱水料費	82,887	72,485	10,402	
賃借料	968	1,248	△ 280	
保険料	73	16	57	
手数料	235	178	57	
租税公課	4,900	4,543	357	
委託費	215,351	229,123	△ 13,772	
負担金	157	51	106	
管理費	15,259	18,504	△ 3,245	
役員報酬	980	1,037	△ 57	
給料手当	7,156	8,104	△ 948	
退職給付掛金	468	504	△ 36	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,361	1,521	△ 160	
会議費	10	9	1	
旅費交通費	208	283	△ 75	
通信運搬費	309	330	△ 21	
消耗品費	750	743	7	
修繕費	85	165	△ 80	
印刷製本費	101	88	13	
燃料費	178	283	△ 105	
光熱水料費	730	1,825	△ 1,095	
賃借料	402	417	△ 15	
保険料	64	116	△ 52	
諸謝金	313	313	0	
手数料	157	305	△ 148	
租税公課	309	310	△ 1	
委託費	1,456	1,925	△ 469	
負担金	222	226	△ 4	
経常費用計	496,418	539,178	△ 42,760	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,200	2,815	△ 1,615	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	1,200	2,815	△ 1,615	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	4,200	5,815	△ 1,615	

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社  
収支予算書内訳表

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	481,155	15,259		496,414
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	481,155	15,259		496,414
雑収益	3			3
受取利息	3			3
経常収益計	481,159	15,259	0	496,418
(2) 経常費用				
事業費	481,159			481,159
役員報酬	3,918			3,918
給料手当	32,354			32,354
退職給付掛金	1,692			1,692
福利厚生費	6,046			6,046
会議費	10			10
旅費交通費	289			289
通信運搬費	350			350
消耗品費	16,621			16,621
修繕費	113,770			113,770
印刷製本費	369			369
燃料費	1,169			1,169
光熱水料費	82,887			82,887
賃借料	968			968
保険料	73			73
手数料	235			235
租税公課	4,900			4,900
委託費	215,351			215,351
負担金	157			157
管理費		15,259		15,259
役員報酬		980		980
給料手当		7,156		7,156

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
退職給付掛金		468		468
福利厚生費		1,361		1,361
会議費		10		10
旅費交通費		208		208
通信運搬費		309		309
消耗品費		750		750
修繕費		85		85
印刷製本費		101		101
燃料費		178		178
光熱水料費		730		730
賃借料		402		402
保険料		64		64
諸謝金		313		313
手数料		157		157
租税公課		309		309
委託費		1,456		1,456
負担金		222		222
経常費用計	481,159	15,259	0	496,418
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,170	30	0	1,200
一般正味財産期末残高	1,170	30	0	1,200
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	1,170	3,030	0	4,200